

■ レンスイファイバー™仕様表

項目	型式	REF-5S	REF-10S	REF-15S	REF-25S	REF-50S
基準流量 (m ³ /h)		3~5	6~10	9~15	15~25	30~50
主配管口径		40A	40A	50A	65A	100A
ろ材		ポリプロピレン製長毛繊維 (カートリッジ式)				
ろ過塔 (mm)		Ø 300 × 2600H SUS製	Ø 400 × 2600H SUS製	Ø 500 × 2600H SUS製	Ø 650 × 2600H SUS製	Ø 900 × 2850H SUS製
占有面積		2500W × 1300D	2600W × 1400D	2700W × 1400D	2400W × 1950D	2700W × 1950D
有効高さ ^{注1} (mm)		3725H	3780H	3930H	4190H	4160H
製品重量 (kg)		700	850	1000	1200	1600
運転質量 (kg)		1350	1450	1800	2500	3850

※REF-5S~REF-50Sは、共通架台に設置

項目	型式	REF-90S	REF-120S	REF-150S
基準流量 (m ³ /h)		54~90	72~120	90~150
主配管口径		125A	125A	150A
ろ材		ポリプロピレン製長毛繊維 (カートリッジ式)		
ろ過塔 (mm)		Ø1200 × 2900H SUS製	Ø 1400 × 2960H SUS製	Ø 1600 × 3000H SUS製
占有面積		2130W × 2150D	2300W × 2400D	2550W × 2750D
有効高さ ^{注1} (mm)		4350H	4520H	4985H
製品重量 (kg)		1800	2500	2800
運転質量 (kg)		5700	7900	9800

※REF-90S~REF-150Sは、ろ過塔単体

注1：メンテナンス時には有効高さに加え、
カートリッジ交換スペースが必要です。
REF-25型以下：+1500mm H
REF-50型以上：+3500mm H
※仕様は改良のため予告なく変更される場合があります。

三菱ケミカルアquadソリューションズ株式会社

本 社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2(三菱ケミカル日本橋ビル4F)
TEL (03)6848-4223
名古屋支店 〒453-0053 名古屋市中村区中村町6-5(中村公園第2ビル)
TEL (052)486-2677 (代)
大阪支店 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9(井門瓦町ビル9F)
TEL (06)6204-8531 (代)
福岡支店 〒812-0879 福岡県福岡市博多区銀天町2-2-28(CROSS福岡銀天町3F)
TEL (092)574-1431 (代)

お問い合わせ・最新情報ホームページ

<https://www.mcas.co.jp>



販売代理店

●本カタログ記載の内容については、予告なく変更する場合があります。
●色調については、印刷の特性上、現物と異なる場合があります。
●本カタログからの無断転載を禁じます。

資料請求NO.19041CRO KN
2023年3月発行 (MCAS)

長毛繊維を用いた
超高速ろ過装置

レンスイファイバー™

従来の砂・アンラサイトの代わりに
長毛繊維を使用する画期的なろ過装置です。
ろ過スピードは従来装置の4倍以上にアップされました。



三菱ケミカルアquadソリューションズ株式会社

台風、大雨など原水の濁度が急上昇しても、心配はいりません。

長毛繊維を使った超高速ろ過装置レンスファイバー™は常に安定した水質を供給します。



特長

- 非常時には原水濁度 100 mg/ℓでも処理が可能です。
- 通水LV80m/hを可能とした超高速ろ過装置です。
- ろ材の交換はカセット式で簡単です。

芯ひも効果で繊維を複層ろ過構造に

水流で加圧された繊維は、一定の長さのひもで上下を固定されているので、繊維が完全に押しつぶされることなく、塔上部より下部に向かって「疎」から「密」へと段階的ろ層が形成され、高純度の処理水を供給します。

● 処理能力の一例

処理水濁度は原水の性状により変動します。
 定常時入口濁度 (5~50) mg/ℓ
 処理水濁度 (<1.0) mg/ℓ
 非常時入口濁度 (100) mg/ℓ
 処理水濁度 (<2.0) mg/ℓ



塔内充填前

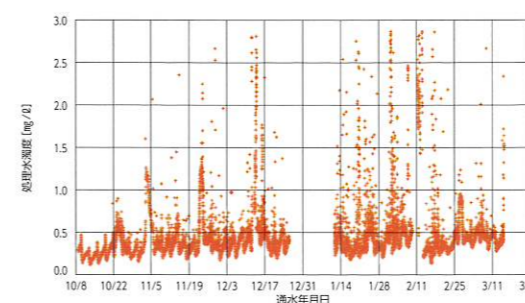
優れた洗浄システム

繊維の洗浄時には芯ひもが繊維の絡みつきを防ぎ、水と空気の強烈な流れで洗浄。繊維に付着した濁質をしっかりと落とし、安定したろ過性能を維持できる。他社の繊維ろ過法にはない、画期的な特長です。



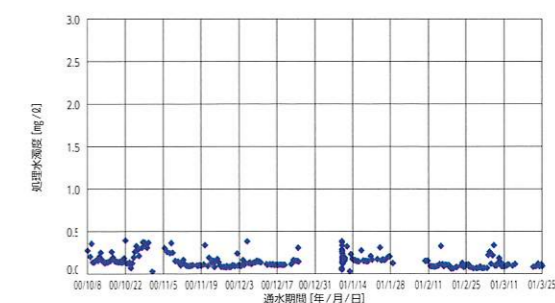
従来方式との処理水比較

従来方式とレンスファイバー™処理水の比較 (処理水量 10 ml/h・原水濁度 7.0~20 mg/ℓ)



従来型2層ろ過

処理水濁度: 2 mg/ℓ以下
 ろ過塔: 1,200φ×2,500 mm H
 ろ材重量: 2,300 kg
 通水LV: 5~15 m/h
 水回収率: 95%
 PAC添加量: 1.5 mg/ℓ



レンスファイバー™

処理水濁度: 1 mg/ℓ以下
 ろ過塔: 400φ×2,300 mm H
 ろ材重量: 13 kg
 通水LV: 50~80 m/h
 水回収率: 97%以上
 PAC添加量: 0.5 mg/ℓ

■ レンスファイバー™のしくみ

① ろ過工程 (初期)

ろ過塔上部から原水を送る。繊維を水流で加圧し、上部から下部に向かって「疎」から「密」へと段階的に「ろ層」が形成される。

② ろ過工程

繊維のすき間に濁質を捕捉。圧縮された繊維を通り抜けた水は浄化される。

③ 洗浄工程 (水空気逆洗)

塔下部から処理水を一定時間逆流させ、縮んでいた繊維を伸ばし、同時に空気でぶるぶる震わせることで、繊維に付着していた濁質を一気に落とす。

④ 水抜き工程

缶体内の水は一旦系外に排出され、その後、水空気逆洗を数回繰り返す。

⑤ 水張り工程

洗浄が完了後、塔内を満水にして再びろ過準備。



芯紐

